

ご協賛団体・企業の皆様(順不同・敬称略)

横田建設(株)／川木建設(株)／金子歯科医院／(株)ワンウェイ／日本医療科学大学／アポクリート(株)／城西大学／(株)埼玉クリーンサービス／ana 治療院／(公財) 埼玉県健康づくり事業団／(株)鈴木薬局／(株)日本トリム／コカ・コーラ／(株)若海工務店／川越胃腸病院／川越小江戸ロータリークラブ／川越小江戸アクティブロータリー衛星クラブ／埼玉医科大学国際医療センター／埼玉医科大学総合医療センター／ひろせクリニック／クオール薬局(株)／(学)医学アカデミー薬学ゼミナール／昭和工業(株)／(株)日本在宅ケア教育研究所／(有)亀屋紋蔵／三井病院／サンパークス(株)アイリス調剤薬局／三光建設(株)／(株)ヘルズネット／ふわふわソシアルクラブ・福島洋子／(有)埼玉不動産鑑定所／池袋病院／フローリスト花和／場の養生塾／のぞみカフェ／その他多数(個人の方からもご寄付をいただきました。)

特別協賛 — ナショナルスポンサー —



ご後援団体・協力団体の皆様

厚生労働省／(一社) 埼玉県医師会／(一社) 川越市医師会／(社福) 埼玉県社会福祉協議会／埼玉県立がんセンター／日本赤十字社埼玉県支部／(公社) 埼玉県看護協会／(公社) 埼玉県診療放射線技師会／(一社) 埼玉県薬剤師会／(一社) 埼玉県病院薬剤師会／(公財) 埼玉県健康づくり事業団／(公社) 埼玉県歯科衛生士会川越支部／(公社) 埼玉県理学療法士会／(一社) 川越市歯科医師会／(一社) 川越市薬剤師会／(社福) 川越市社会福祉協議会／(財) 医療・福祉・環境経営支援機構全国協議会／埼玉県教育委員会／川越市教育委員会／川越商工会議所／(公社) 川越青年会議所／未来クラブ／大東文化大学／東邦音楽大学／J:COM 東上・川越／その他多数

小江戸川越ハート♥ウォーク(チェックポイント・案内所)

蓮馨寺、松本醤油商店、稲葉屋本舗、スカラ座、美々庵、真南風、キムラヤ文具店、川越八幡宮、Gallery&cafe 平蔵、中院、紋蔵庵喜多院門前店、松山商店、川越クレアモール献血ルーム、スガ人形店 城西大学薬学部医療栄養学科 予防栄養学研究室(コース・記念品デザイン、エネルギー計算、啓発資料制作)

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021川越実行委員会

名誉大会委員長：川合善明(川越市長)
 実行委員長：細谷治 副実行委員長：夢沼光夫／野口悟／飯田友美子／村田勇
 事務局：若海敬司／廣瀬哲也／遠藤大介 会計責任者：岡部健司 顧問：儀賀理暁
 委員：穴田佐和子／阿部雅美／市川秀郎／伊良波玲子／岡本美代子／柴野潤一／島田利治／白木誠
 関口俊一／椿雅行／内木雅也／野村真実／舟橋園恵／堀由美子／牧すずえ／八木拓也／山田正義
 サポーター：池口恵佳／石井梨絵／伊藤雅子／黒澤令子／小松里佳子／小宮山泰子／佐藤信一／関口浩子
 関隆志／濱野澄人／廣瀬順子／舟橋一浩／山田すみ江

リレー・フォー・ライフの主演は、あなたです。

みんなの願いが、このイベントの実現につながります。

来年こそは、皆様と会場でお会いできることを

実行委員一同楽しみにしています。ごきげんよう。



YouTubeにて、
後夜祭動画公開中!

第13回

がん征圧に向けた世界最大級のチャリティ活動

リレー・フォー・ライフ・ジャパン

2021川越



2021年9月18日(土) オンライン開催



事業報告書



ひとりじゃない! ハート 心はあなたとともに



本報告書の主な内容
 実施内容(オンラインイベント、セルフウォークリレー)
 寄付・協賛報告



新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急事態宣言の発令により、
 開催内容を一部変更(集合イベントの取りやめ)して実施しました。

主催:公益財団法人 日本対がん協会 / リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越実行委員会
 共催:埼玉県 川越市 城西大学 特別後援:アメリカ対がん協会 後援・協力:厚生労働省 他多数
 リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越実行委員会 公式サイト <http://relayforlife.jp/kawago/>
 事務局:〒350-0011 埼玉県川越市久下戸1962-2(若海敬司宅)
 電話:049-235-0878 / 090-4387-6158 FAX:049-235-0836 メール:waka0878@jasmine.ocn.ne.jp



日頃より、当実行委員会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
 今年は、昨年コロナ禍により実現できなかったリアルイベントとして、小江戸蔵里を中心に川越市内を歩くハートウォークを実施しようと、実行委員一同、準備を進めてまいりました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の相次ぐ延長に伴い、誠に残念ですが、9月18日に予定していたリアルイベントは中止させていただくことになりました。

川越市は、さまざまな地域から多くの人が集まる街です。私たちのリレーイベントでサバイバーの皆さんをはじめ、実行委員の皆さん、参加チームの皆さんを感染させてはいけない。そう考えての判断でした。イベントを楽しみにしていただいた皆様には、大変申し訳なく感じております。

コロナ禍にもかかわらず、昨年以上にたくさんのご寄付と協賛を頂戴しました。皆様の多大なるご支援に感謝申し上げます。いただいた寄付・募金は、日本対がん協会を通じ、サバイバー支援や、がん相談ホットライン等の運営に充てさせていただきます。小江戸川越ハートウォークにつきましては、感染状況が落ち着きましたらあらためて企画したいと考えております。

また、私たちのリレーの原点である、川越水上公園での24時間のリレーにつきましても、再開に向けて頑張りたいと思いますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年10月 リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越実行委員会一同

オンラインプログラム 2021年9月18日(土)	
詳細は・・・▶ https://relayforlife.jp/kawagoe/2021onlineprogram	
0	00 セルフウォークリレー開始 アプリ「minpo」を使って、歩数を計測。目標の1,012,000歩を目指します。
10	00 啓発セミナー動画配信開始 ★新型コロナウイルス禍のがん検診とその治療 埼玉医科大学国際医療センター病院長 乳腺腫瘍科 佐伯俊昭 先生 ★抗がん剤治療を支える薬剤師の役割～がん治療を受ける方に伝えたいこと～ 国際医療センター薬剤部 主任 博士(医学) 藤堂真紀 先生 ★「がん防災」～がんになる前から知っておいてほしいこと～ 一般社団法人がんと働く応援団 野北まどか 先生
17	小江戸川越ハート♥ウォーク(川越市内) ※中止 「歩行時の消費エネルギー量と同量の食品目安表」がホームページでご覧になれます。 サバイバーステント・手形フラッグ作成(本部テント) ※中止
18	00 ルミナリエセレモニー、エンプティテーブル YouTube 生配信
19	終了後、実行委員会会議を実施(次年度もリレーの開催を目指すことを決定)

リレー・フォー・ライフでは、人生において一度でもがんの告知をうけ、がんと共に生きる方を「サバイバー」、サバイバーを支える家族や医療従事者、協力者の方を「ケアギバー」と呼んでいます。

ルミナリエセレモニー

ルミナリエセレモニーは、サバイバーを称え、ケアギバーを励まし、また、亡くられた方を偲ぶため、想い思いのメッセージを灯すリレー・フォー・ライフの重要なイベントです。エンプティテーブルは、がんとの闘いによって亡くなり、この会場に来ることができなかった方を追悼するため、静かな音楽が流れる中、詩の朗読を行います。

ルミナリエ

白いバッグにご自身の想い、家族や友人へのメッセージを書いて、会場に並べます。(今年は、オンライン配信のスタジオ内に掲示させていただきます。)



エンプティテーブル

ルミナリエセレモニーの中で行われる象徴的なセレモニーです。皆の想いを胸に黙とうを捧げます。

がん医療の夜明けを信じて……



手形フラッグ

今年は、会場に集まれなくても手形フラッグが作成できるよう、お一人お一人の大きさの白布をご用意して作成いただきました。手形は、来年度以降のリレー・フォー・ライフにおいて会場内で掲示させていただきます。



セルフウォークリレー結果発表



実施期間

2021年9月18日(土)
～9月26日(日)

全体目標の1,012,000という数字は、2020年度に国内でがんに罹患した方の人数に由来しています。

目標を大きく上回る参加をいただきました。ご参加された皆様、誠にありがとうございました。

Special Thanks

チーム SUP
 チーム城西大学勝浦ゼミ
 大勢でのチーム参加、ありがとうございました。

収支報告(2021.10.31 現在)

収入の部	
前年からの繰越	150,000
参加費(SWR実行委員預り含む)	56,000
ルミナリエ	7,500
協賛金	475,000
店頭募金箱	54,521
グッズ販売	13,500
合計(A)	756,521

支出の部	
販促品製作費	64,520
広告制作費	10,340
会場関係費	63,348
事務局運営費	21,002
その他経費	9,091
次年度準備金(繰越金)	150,000
合計(B)	318,301

収支の差 A-B 438,220 ①
 (実行委員会からの寄付)

SWR参加費	125,000	②
オンライン寄付	15,000	③
寄付総額 ①+②+③	578,220	

集められた寄付金は、(公財)日本対がん協会を通じて、がん征圧及び患者支援のために使用されます。